

## 第20章 補正された評価書に対して追加補正した 事項



## 第20章 補正された評価書に対して追加補正した事項

環境影響評価審査会における意見内容、県知事意見の内容等を総合的に検討のうえ、補正された評価書に対して追加補正した事項は次のとおりです。

表 20-1(1) 補正された評価書に対して追加補正した事項

項目	評価書の変更点	補正された評価書の再補正理由等	評価書、評価書要約書及び資料編に記載のページ
目次	—	「第10章 事後調査の内容」のページ番号を“10-5”頁より“10-6”頁に修正しました。	評価書目次
		「第19章 補正した評価書に対する知事の意見及びそれに対する事業者の見解」及び「第20章 補正された評価書に対して追加補正した事項」を追記しました。	評価書目次 要約書目次
環境影響評価書の位置付けについて	—	手続き段階が補正した評価書に対して追加補正を行った段階となるため、表中の破線範囲を変更しました。	—
環境影響評価書の全体構成について	—	「第19章 補正した評価書に対する知事の意見及びそれに対する事業者の見解」及び「第20章 補正された評価書に対して追加補正した事項」を追記しました。 該当する条項のうち、第18章～第20章について新指針（鳥取県環境影響評価技術指針）に基づく内容を追記しました。注釈として、その旨を追記しました。	—
第2章 事業の目的及び内容 2-1 事業の目的	—	“「ごみ処理広域化実施計画」（東部広域）”を“「ごみ処理広域化実施計画」（組合）”に変更しました。	評価書 2-1 頁 要約書 1 頁
	—	「表 2-1.3」の埋立容量について、変更計画が確定したので、内容を修正しました。“平成 24 年度”を“平成 42 年度”に変更のうえ“520,000 m <sup>3</sup> ”を削除しました。	評価書 2-2 頁 要約書 3 頁
第2章 事業の目的及び内容 2-2 事業の内容	2-2-3 対象事業の規模	「4. ごみ処理方式の選定について」において評価書を補正した時点から時点更新を行いました。 最下行の“進める計画である”を“進めるものとした”に修正しました。	評価書 2-6 頁 要約書 6 頁
	2-2-5 対象事業の内容	「図 2-2.5 土地利用計画図」においてピオトープ予定地を追記しました。	評価書 2-11 頁 要約書 11 頁
		「表 2-2.4 施設整備に係る基本方針」の内容について、第3回の可燃物処理施設整備検討委員会の報告を踏まえて修正を行いました。	評価書 2-14 頁 要約書 14 頁
		「表 2-2.6 公害防止に係る計画目標値（大気質、騒音、振動、悪臭）」の窒素酸化物の法規制値“(250 cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )”を“(250 cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> <sub>N</sub> 以下)”に修正しました。	評価書 2-17 頁 要約書 17 頁
		「(5) 水質汚濁防止対策」下7行目の“一般的にこれらの公共建築物は”については、内容が不明確なため削除しました。	評価書 2-19 頁 要約書 19 頁

表 20-1(2) 補正された評価書に対して追加補正した事項

項目	評価書の変更点	補正された評価書の再補正理由等	評価書、評価書要約書及び資料編に記載のページ
第2章 事業の目的及び内容 2-2 事業の内容	2-2-5 対象事業の内容	「図2-2.9」に「国道373号」の赤線を追記しました。	評価書 2-21 頁 要約書 21 頁
		「図2-2.11」中の“プラント排水”を“プラント系排水”に修正しました。	評価書 2-23 頁 要約書 23 頁
		「9. 余熱利用計画」において“売電等を検討している”を“売電する計画である”に修正しました。	評価書 2-24 頁 要約書 24 頁
	2-2-6 対象事業に係る工事計画の概要	「(2) 騒音・振動防止対策」の中で“車両の集中を避けるとともに”を“車両の集中を避けるとともに”に修正しました。	評価書 2-28 頁 要約書 28 頁
第3章 事業実施区域及びその周囲の概況 3-1 自然的状況	3-1-4 植物の状況	下2行目の“対象事業実施区域及周边”を“対象事業実施区域及びその周辺”に修正しました。	評価書 3-17 頁
	3-1-5 動物の状況	“哺乳類”の記載を“ほ乳類”に修正しました。	評価書 3-27 頁
	3-1-6 生態系の状況	下6行目“従って”を“したがって”に修正しました。下3行目の“爬虫類、哺乳類”を“ほ虫類、ほ乳類”に修正しました。	評価書 3-33 頁
	3-1-7 景観の状況	下2行目の“至近集落”を“周辺集落”に修正しました。	評価書 3-36 頁
	3-1-9 大気質・水質等の状況	生活環境の保全に関する環境基準「水生生物保全環境基準」に新たに項目が追加（ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）されたため、水質調査結果の備考にその旨を追記しました。	評価書 3-53 頁、54 頁
第3章 事業実施区域及びその周囲の概況 3-2 社会的状況	3-2-2 集落の状況	「図3-2.2」に片山地区を記載しました。	評価書 3-68 頁
第3章 事業実施区域及びその周囲の概況 3-3 環境関連法令	3-3-1 環境基準及び公害防止に係る地域の指定の状況	文中3行目に“「鳥取県公害防止条例」“を追記のうえ、「表3-3.1」に深夜騒音規制が適用される旨を追記しました。	評価書 3-84 頁
		鳥取市による騒音規制法及び振動規制法に係る規制地域の指定に第2種低層住居専用地域が含まれていないことから、「表3-3.13」、「表3-3.17」及び「表3-3.19」の第1種区域から“第2種低層住居専用地域”を削除しました。また同様に「表3-3.18」の第1号区域から“第2種低層住居専用地域”を削除しました。	評価書 3-90 頁、92 頁、93 頁
		「表3-3.20(1)」において、“イソ草酪酸”を“イソ吉草酸”に修正しました。	評価書 3-94 頁

表 20-1 (3) 補正された評価書に対して追加補正した事項

項目	評価書の変更点	補正された評価書の再補正理由等	評価書、評価書要約書及び資料編に記載のページ
第3章 事業実施区域及びその周囲の概況 3-3 環境関連法令	3-3-1 環境基準及び公害防止に係る地域の指定の状況	生活環境の保全に関する環境基準「水生生物保全環境基準」に新たに項目が追加（ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）されたため、その旨を追記しました。	評価書 3-96 頁
		水質汚濁防止法施行令の一部を改正する政令等が平成 24 年 5 月 23 日に公布、同年 5 月 25 日に施行され、新たに“1,4-ジオキサン”の項目及び排水基準が設定されたことに伴い、「表 3-3. 24(1)」に“1,4-ジオキサン”の項目及び排水基準を追加しました。	評価書 3-97 頁
第5章 方法書に対する知事の意見及びそれに対する事業者の見解	—	下1、2行目に記載の“箇所”を“カ所”に修正しました。	評価書 5-1 頁 要約書 35 頁
		「エ 事業者の見解」の“すべての近隣集落”を“すべての周辺集落”に修正しました。	評価書 5-4 頁 要約書 38 頁
第6章 環境影響評価の項目 6-2 影響要因の抽出	—	「表 6-3.2」備考に記載の項目選定結果の表示方法について、表中に該当部分がないことから“×：環境影響評価項目として選定しない項目”を削除しました。	評価書 6-7 頁 要約書 47 頁
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-1 大気環境	7-1-1 大気質	図中の凡例のうち、“〔単位：台/24時間〕”を削除しました。	評価書 7-6 頁
		他の大気汚染物質に係る記載との整合を踏まえ、2行目の調査結果の記載について修正しました。「昼間の1時間値の最高値」を黒枠で強調表示しました。また、注釈下段に記載の“年間平均値”を“昼間の1時間値の最高値”に修正しました。	評価書 7-26 頁 要約書 63 頁
		下2行目の“m <sup>3</sup> /時”を“m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /時”に修正しました。	評価書 7-47 頁
	7-1-2 騒音	表中の“至近民家”を“直近民家”に修正しました。	評価書 7-95 頁
		図中の凡例のうち、“〔単位：台/24時間〕”を削除しました。	評価書 7-97 頁

表 20-1(4) 補正された評価書に対して追加補正した事項

項目	評価書の変更点	補正された評価書の再補正理由等	評価書、評価書要約書及び資料編に記載のページ
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-1 大気環境	7-1-3 振動	表「計画施設の稼働に伴う騒音の予測結果」において、夜間の値について「鳥取県公害防止条例」に基づく深夜騒音規制が適用されることを踏まえ、注釈の“昼間、朝・夕及び夜間”を“昼間及び朝・夕”に修正しました。	評価書 7-124 頁 要約書 95 頁
		下3、4行目の“騒音に係る環境基準は適用されない。なお、県条例に基づく深夜騒音は適用される”を“騒音に係る環境基準は適用されないが、県条例に基づく深夜騒音の規制基準は適用される”に修正しました。	評価書 7-127 頁 要約書 98 頁
		表中の“至近民家”を“直近民家”に修正しました。	評価書 7-130 頁
		表「建設機械の稼働による振動の予測結果」において“デシベル”を削除しました。	評価書 7-144 頁 要約書 106 頁
		表「計画施設の稼働に伴う振動の予測結果」において“デシベル”を削除しました。“地点B”を“地点a”に修正しました。	評価書 7-150 頁 要約書 109 頁
		下2行目の“恐れ”を“おそれ”に修正しました。	評価書 7-152 頁 要約書 111 頁
	7-1-4 悪臭	「(2) 調査地域」における“対象事業実施区域”を“対象事業実施区域及びその周辺”に修正しました。	評価書 7-155 頁
		図中の“至近民家”を“直近民家”に修正しました。	評価書 7-156 頁 要約書 115 頁
		表中の“至近民家”を“直近民家”に修正しました。	評価書 7-158 頁 要約書 116 頁
		表中の“イソ草酪酸”を“イソ吉草酸”に修正しました。	評価書 7-159 頁
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-2 水環境	7-2-1 水質	生活環境の保全に関する環境基準「水生生物保全環境基準」に新たに項目が追加（ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）されたため、水質調査結果の備考にその旨を追記しました。	評価書 7-171 頁、172 頁、174 頁、178 頁 要約書 123 頁、124 頁、126 頁、130 頁
		生活環境の保全に関する環境基準「水生生物保全環境基準」に新たに項目が追加（ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）されたため、その旨を追記しました。	評価書 7-185 頁
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-3 土壌環境・その他の環境	7-3-1 地形・地質	「(1) 評価の手法」において“実行可能な範囲”を“実行可能な範囲内”に統一しました。「(2) 評価の結果」において“移設配置”を“施設配置”に修正しました。	評価書 7-196 頁 要約書 140 頁
	7-3-2 土壌	見出しの記号“a. ~c. ”を“(ア) ~ (ウ)”に修正しました。	評価書 7-201 頁、202 頁
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-4 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	7-4-1 植物	植物重要種の表の注釈のうち“注目すべき種”を“重要種”に修正しました。	評価書 7-219 頁 要約書 154 頁
		最下行“群落はなかった”を“群落は確認されなかった”に修正しました。	評価書 7-220 頁 要約書 155 頁
7-4-2 動物	図のタイトルのうち“クモ型類”を“クモ形類”に修正しました。	評価書 7-241 頁 要約書 175 頁	

表 20-1(5) 補正された評価書に対して追加補正した事項

項目	評価書の変更点	補正された評価書の再補正理由等	評価書、評価書要約書及び資料編に記載のページ
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-4 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	7-4-2 動物	注目すべき種の表中、5月及び6月の“春渡期”を“繁殖期”に修正しました。	評価書 7-273 頁 要約書 189 頁
		下 11 行目の“恐れ”を“おそれ”に修正しました。	評価書 7-310 頁 要約書 214 頁
		「(1) 評価の手法」4行目において“各種文献により貴重種や重要な群落の対象”を“各種文献により重要な種として指定を受けている対象”に修正しました。	評価書 7-311 頁 要約書 215 頁
		表タイトルのうち、“哺乳類”を“ほ乳類”に修正しました。	評価書 7-318 頁 要約書 222 頁
	7-4-3 水生生物	図の凡例に記載の“移植”を“移殖”に修正しました。	評価書 7-394 頁
7-4-4 生態系	「3. 環境保全措置」に記載の“中小型哺乳類”を“中小型ほ乳類”に修正しました。	評価書 7-421 頁 要約書 277 頁	
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-5 人と自然との豊かな触れ合い	7-5-1 景観	「ウ. 予測地点」のうち“地点とし、”を“地点とした。”に修正しました。	評価書 7-433 頁
	7-5-2 触れ合い活動の場	“本事業実施区域”を“対象事業実施区域”に修正しました。	評価書 7-449 頁、450 頁、451 頁、453 頁、454 頁 要約書 296 頁～299 頁
		「(2) 評価の結果」の4行目において、“本事業は”が重複した記載となっていたため、これを修正しました。	評価書 7-453 頁 要約書 298 頁
第7章 調査・予測・評価の手法及び結果 7-6 環境への負荷	7-6-1 廃棄物等	“実行可能な範囲”を“実行可能な範囲内”に修正しました。	評価書 7-458 頁、459 頁 要約書 302、303 頁
	7-6-2 温室効果ガス	「3. 評価(1) 評価の手法」において“実行可能な範囲”を“実行可能な範囲内”に修正しました。	評価書 7-462 頁 要約書 305 頁
第8章 環境保全措置	—	6 段目 1 行目の“恐れ”を“おそれ”に修正しました。	評価書 8-2 頁
		2 段目 9 行目の“恐れ”を“おそれ”に修正しました。 5 段目 2 行目の“施工時”を“本事業の施工時”、5 段目 9 行目の“供用時”を“本事業の供用時”に修正しました。	評価書 8-5 頁
		1 段目 5 行目の“工事前”を“本事業の工事前”に修正しました。	評価書 8-6 頁
第9章 対象事業に係る環境影響の総合的な評価	—	6 行目“東部広域”を“組合”に修正しました。8 行目“廃棄物”を“廃棄物等”に修正しました。9 行目“温室効果ガス等”を“温室効果ガス”に修正しました。評価書 14 行目(要約書 13 行目) “「第10章 事後調査計画」”を“「第10章 事後調査の内容」”に修正しました。下 2 行目“実行可能な範囲”を“実行可能な範囲内”に修正しました。	評価書 9-1 頁 要約書 307 頁

表 20-1(6) 補正された評価書に対して追加補正した事項

項目	評価書の変更点	補正された評価書の再補正理由等	評価書、評価書要約書及び資料編に記載のページ
第9章 対象事業に係る環境影響の総合的な評価	—	3段目4行目の“哺乳類”を“ほ乳類”に修正しました。	評価書9-4頁
		1段目を、評価書本編の評価の内容と整合するように修正しました。	評価書9-6頁
第10章 事後調査の内容 10-2 事後調査の項目及び方法	10-2-1 工事の実施時	表中下5段目の“ホンゴウソウ確認地点周辺とする。”を“ホンゴウソウ確認地点周辺”に修正しました。 表中下2段目の“トゲアリ、クロマルハナバチ”を“トゲアリ、クロマルハナバチ分布状況確認”に修正しました。	評価書10-2頁 要約書309頁
	10-2-2 施設の供用時	10行目の“稼働状態”を“稼働状態”に修正しました。	評価書10-3頁 要約書310頁
		騒音及び振動調査の手法において、JISの記載があるものの頭に“日本工業規格”を追記しました。振動レベルの調査の手法の記述を修正しました。	評価書10-4頁 要約書311頁
地下水の調査地点に“計4地点”を追記しました。	評価書10-6頁 要約書313頁		
第13章 方法書の記載事項の修正の内容	—	表中2段目の変更理由において、“主要な方向”を“主要な風向”に、“近隣への集落”を“近隣の集落”に、“予測、評価”を“予測及び評価”に修正しました。 表中3段目の変更理由の2行目において、“事業所敷地境界”を“事業所敷地境界地点”に修正しました。	評価書13-1頁 要約書315頁
		表中、景観に係る準備書記載事項において、“車窓”を“車窓とする”に修正しました。	評価書13-2頁 要約書316頁
第15章 準備書に対する知事の意見及びそれに対する事業者の見解	—	18行目の“平成24年8月21日発行”の“発行”を削除しました。	評価書15-3頁 要約書374頁
		1行目の“つきましても”を“つきましても”に修正しました。	評価書15-7頁 要約書378頁
		最下行の“影響要因”を“環境影響要因”に修正しました。	評価書15-9頁 要約書380頁
第16章 準備書の内容を変更した事項	—	4段目の最右列の欄に、要約書74頁を追記しました。	評価書16-2頁 要約書387頁
		表中最右列の参照ページを修正しました。2段目及び3段目の要約書“213頁”を“212頁”に、8段目の“評価書387頁、388頁”を“評価書7-387頁、388頁”に修正しました。	評価書16-5頁 要約書390頁
		表中最右列の“10-6頁”を“10-5頁”に修正しました。4段目と5段目の順を変更しました。 5段目の資料12-2のタイトルを修正しました。	評価書16-6頁 要約書391頁
第17章 評価書に対する知事の意見及びそれに対する事業者の見解	—	“平成25年3月22日発行”の“発行”を削除しました。	評価書17-1頁 要約書392頁
		7行目“騒音・振動、悪臭”を削除しました。下3行目に“触れ合い活動の場”を追記しました。	評価書17-4頁 要約書395頁

表 20-1(7) 補正された評価書に対して追加補正した事項

項目	評価書の変更点	補正された評価書の再補正理由等	評価書、評価書要約書及び資料編に記載のページ
第 17 章 評価書に対する知事の意見及びそれに対する事業者の見解	—	14 行目の“1 か月”を”1 ヶ月”に、19 行目の“雄”を“オス”に修正しました。	評価書 17-10 頁 要約書 401 頁
		13 行目の“生息地”を“生育地”に修正しました。	評価書 17-11 頁 要約書 402 頁
第 18 章 評価書の内容を補正した事項	—	補正した事項に“目次”、“環境影響評価書の位置づけについて”、“環境影響評価書の全体構成について”を追加しました。	評価書 18-1 頁 要約書 405 頁
		表中 3 段目の“生息”を“生育”に修正しました。	評価書 18-3 頁 要約書 407 頁
		表中 3、5、6 段目の“生育”を“生息”に修正しました。 表中 9 段目の“生殖”を“生息”に修正しました。	評価書 18-4 頁 要約書 408 頁
		表中最下段の“生育”を“生息”に修正しました。	評価書 18-5 頁 要約書 409 頁
		表中 2、3、4 段目の“生育”を“生息”に修正しました。	評価書 18-6 頁 要約書 410 頁
		「第 10 章 事後調査の内容 10-2 事後調査の項目及び方法」について、評価書の変更点に「10-2-1 工事の実施時」を追記しました。	評価書 18-8 頁 要約書 412 頁
		表中 7 段目の“生殖”を“生育”に修正しました。	評価書 18-9 頁 要約書 413 頁
資料編 1 対象事業 関連	資料 1-1 公害防止に係る計画目標値の設定の考え方	「表 1-1.1 公害防止に係る計画目標値(大気質、騒音、振動、悪臭)」の窒素酸化物の法規制値“250 cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> <sub>N</sub> ”を“250 cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> <sub>N</sub> 以下”に修正しました。 悪臭について、評価書本編との統一を図るため、表中より“ただし、周辺に民家等も点在していることを踏まえ、A 区域相当の基準を適用した。”を削除し、本文中に“及び周辺の民家への影響”を追記しました。	資料編資 1-1 頁
	資料 1-2 予測に用いる条件の設定	1 行目の“準備書作成の段階”を“評価書作成の段階”に修正しました。	資料編資 1-2 頁
資料編 2 大気質 関連	資料 2-1 気象の異常年検定結果及び地上気象と上層気象の類似性	4 行目“西寄り”を“西より”に、“南～西～西北西”を“南、西及び西北西”に修正しました。5 行目、最多風向の出現率に係る説明を追記しました。	資料編資 2-3 頁
	資料 2-3 交通量の現地調査結果	図中の凡例のうち、“〔単位：台/24 時間〕”を削除しました。	資料編資 2-8 頁
	資料 2-6 煙突排ガスの予測結果(2 方式(影響が最大となるもの以外))	本文中の“最大付加濃度”を“最大着地濃度”に、表中の“最大環境濃度”を“最大着地濃度”に修正しました。	資料編資 2-77 頁、93 頁

表 20-1(8) 補正された評価書に対して追加補正した事項

項目	評価書の変更点	補正された評価書の再補正理由等	評価書、評価書要約書及び資料編に記載のページ
資料編 3 騒音関連	資料 3-1 騒音の現地調査結果	表中及び表左上に記載の“至近民家”を“直近民家”に修正しました。	資料編資 3-1 頁、4 頁、10 頁
資料編 4 振動関連	資料 4-1 振動の現地調査結果	表中及び表左上に記載の“至近民家”を“直近民家”に修正しました。	資料編資 4-1 頁、4 頁、10 頁
資料編 5 悪臭関連	資料 5-1 悪臭の予測結果（2方式（影響が最大となるもの以外））	4 行目、臭気指数の予測結果に係る説明を修正しました。表中の“最大環境濃度”を“最大着地濃度”に修正しました。	資料編資 5-1 頁
		表中の“最大環境濃度”を“最大着地濃度”に修正しました。	資料編資 5-2 頁
資料編 12 その他	資料 12-1 隣接する工業団地造成事業を踏まえた複合影響予測に係る条件設定	3 行目“土地利用計画図”を“土地利用計画図（図 12-1.2）”に修正しました。	資料編資 12-5 頁
	資料 12-2 同一調査項目の観点からみた環境影響要因毎の複合影響	「(6) 評価結果」1～2 行目の記述を、「(5) 予測結果」との整合を踏まえ、修正しました。	資料編資 12-9 頁